

2 総合優勝制度

大会要項「19、表彰」(3)

平成13年度に連盟創立40周年を記念して、総合優勝制度を発足させました。全日本教職員バドミントン選手権大会は団体千3種目、個人戦18種目を擁する大規模な大会に成長しました。会員の皆様が連綿として築き上げた成果です。

今後も会員相互が連絡を取り合い、新人の発掘やかつて参加していた人の再登場を図ってください。連盟としては各都道府県が、チームとしての意識を持って参加・協力をしてほしいと願っています。そのために大会は都道府県対抗を原則としています。そこで、より多くの都道府県が、より多くの種目に参加することを奨励するためにこの制度を考えました。一人でも多くの人に参加した県が有利になるように、また高い競技力を示した選手がおられる県が有利になるように設定してあります。

総合順位算出方法について

1、参加点

①団体戦：参加チームに 各3点

②個人戦：シングルスに 1点 ダブルス1組に 1点

※ 参加数は原則としてプログラムにエントリーされた者。

(参加費を支払っている場合、事情により変更しても認める)

2、勝ち抜き点 (試合が成立しなかった場合は加算しない)

①団体戦：個人戦に該当する得点の3倍

エントリー数	1位	2位	3位	5~8位	9~16位
2~3	6				
4~7	12	6			
8~15	18	12	6		
16~31	24	18	12	6	
32~51	30	24	18	12	6

②個人戦：各種目エントリー数並びに順位に対する得点

エントリー数	1位	2位	3位	5~8位	9~16位	17~32位	33~64位
2~3	2						
4~7	4	2					
8~15	6	4	2				
16~31	8	6	4	2			
32~63	10	8	6	4	2		
64~127	12	10	8	6	4	2	
128~255	14	12	10	8	6	4	2

3、総合得点

都道府県別に、参加点及び勝ち抜き点を合計して、順位を決める。